平成１６年度　三重大学工学部
分子素材工学科 社会人向けリカレント教育講座募集要項

1. 講座の名称　三重大学工学部分子素材工学科公開講座「新しいバイオ技術の基礎と応用」

2. 主　催　者　三重大学工学部

3. 開 設 時 期　平成１６年１１月5日(金)

4. 開 設 場 所　三重大学工学部情報工学科棟１階多目的会議室（裏面会場案内図参照）

5. 受講対象者　企業や公的研究機関の研究従事者，高校理科教員及び一般市民

6. 募 集 人 員　約３０名

7. 講　習　料　５，２００円　（昼食代は含まれません。近接の生協食堂などをご利用ください。）

8. 申 込 方 法 ①「受講申込票」（コピーしたものも可）に所定の事項を記入し，下記申込先に郵送またはご持参ください。
②講習料は，本学所定の「銀行振込用紙」により，最寄りの金融機関（郵便局を除く)で納付し，「受講申込票」の所定欄に「振込証明書」を貼付してください。
③現金を郵送される場合は，現金書類にてお願いします。
④電話での申込受付はいたしません。

9. 申　込　先　三重大学総務部総務課広報室（〒514-8507 津市上浜町1515）
（電話　津(059)231-9789　直通）(E-mail　koho@ab.mie-u.ac.jp)

10. 受 付 期 間　平成１６年１０月1日（金）～１１月2日（火）　（土・日・祝日は除く）

11. 講座の概要　２０世紀半ば，ＤＮＡのWatson-Crickモデルが提案されて以来，遺伝に関する分子的理解が爆発的に進展し，その四半世紀後，遺伝子工学が誕生した。さらに２１世紀初頭，ヒトゲノムの完全解読がなされ，ゲノム工学分野が新生しようとしている。一方，遺伝の分子的理解に端を発する分子生物学の台頭は，生体防御，特に免疫の分子機構をも極めて明確にさせた。それにも拘わらず，癌，エイズ，自己免疫疾患等の難病は，人類の叡知を結集しても未だに克服できず，ＳＡＲＳ等の新興ウイルス感染症，プリオン病等の新たな難病が生物を襲っている。
　このような背景の中で本講座では，遺伝及び免疫の分子機構に関する知見及び情報を基盤とした，遺伝子・ゲノム工学及び免疫・抗体工学に関する最近の動向を整理し，リポソーム工学の導入による疾病の診断・治療・予防技術とモノクローナル抗体作製技術等の，新規生物工学的技術の分子生物学的基盤と応用展開について講義・解説する。

12. 実施責任者　三重大学工学部分子素材工学科 教授　吉村哲郎
(TEL:059-231-9428　Email: yosimura@chem.mie-u.ac.jp)

13. 講座日程・題目

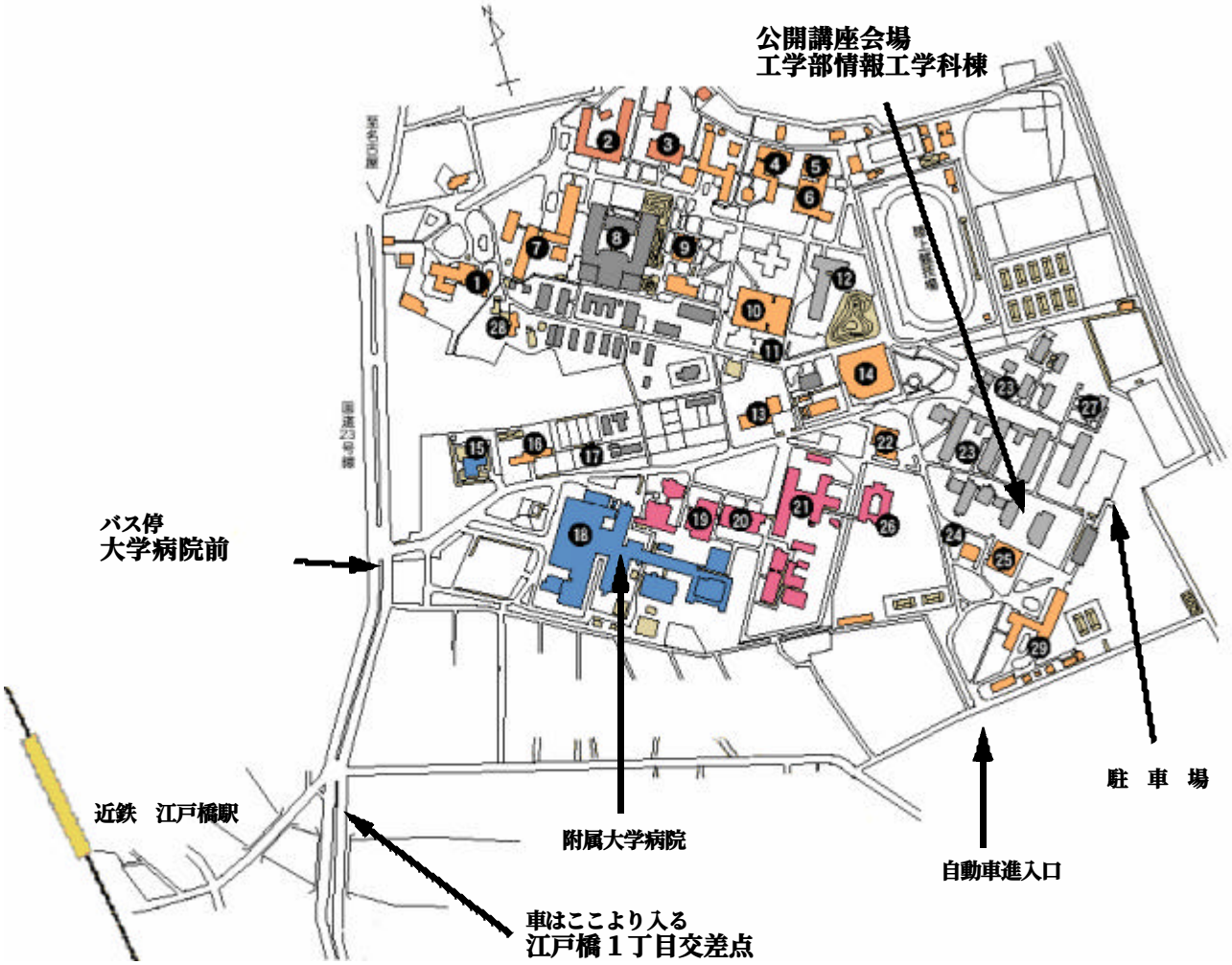
9:30～ 9:50	受　　付		
9:50～10:00	開 講 式		
10:00～11:00	■遺伝子及びゲノム工学の基礎と最近の動向	分子素材工学科	教　授　吉村哲郎
11:00～12:00	■遺伝子工学とリポソーム	分子素材工学科	教　授　吉村哲郎
12:00～13:00	昼食及び休憩		
13:00～14:20	■抗体工学の基礎と最近の動向	分子素材工学科	助教授　冨田昌弘
14:30～16:00	■新興及び再興感染症とワクチン開発	分子素材工学科	教　授　吉村哲郎
16:00～	閉 講 式（閉講式後希望者には研究施設見学を行います。）		

平成１６年度三重大学工学部分子素材工学科リカレント教育講座受講申込票　【振込証明書貼付欄】

ふりがな		※受付番号			
氏　名		年令		性別	
住　所	〒 （TEL　　）				
勤務先	（TEL　　）				

（注）受講申込票に必要事項を記入の上，講習料5,200円の振込証明書を貼付してお申し込みください。
現金の場合は，振込証明書の貼付は不要です。※欄には，記入しないでください。

会場案内図



１．近鉄「江戸橋」駅下車　→　徒歩約２０分
２．ＪＲ東海、近鉄「津」駅下車
　→　津駅東口バス乗り場４番で三交バス「白塚駅、一身田、三重病院、豊里ネオポリス、太陽の町、椋本」各行に乗り約６～１０分
３．ＪＲ東海、近鉄「津」駅下車
　→　津駅東口よりタクシーに乗り、行き先を「三重大学工学部」と指示　約１０分